

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月20日

事業所名 わかば療育園 きらら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	ベッド等を使用しない際は、一か所にまとめておくなどしてできるだけスペースを確保しています。	医療器具の数や車椅子の大きさ、ベッドの数により日によっては手狭になることがあります。移転に伴うことによる改善に務めます。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準は満たしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		目立った段差もなく、車いすや歩行器での移動もスムーズです。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業計画を立案し、その都度改善に努めております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年実施済。アンケート結果を基に業務改善に努めました。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、アンケート結果を事業所内に掲示し、公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	感染症流行前は、外部業者による評価を定期的に行っていました。	今年度は感染症流行のため未実施です。今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修の機会を設け、技術や意識の向上に努めています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的な更新、作成を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたものを使用しており、業務把握に努めております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		話し合いの下、企画立案を行っております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		興味関心に応じたプログラムを月毎に組むように努めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇前、保護者に対しご希望の利用日を聞き取り、極力対応できるように務めております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	特にありません。	小グループの活動のみで個別活動は行っていません。スタッフが増員することで今後検討していく予定です。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員全体で行っております。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月20日

事業所名 わかば療育園 きらら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員全体で行っております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の記録を徹底しています。記録内容を基に支援内容を随時変更しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に話し合いの場を設け、本人や保護者の意向を聞きながら、必要に応じて計画の見直しを図っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		基本活動に基づいた支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との連携は必要に応じて行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		隣接の病院と連携体制を整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて行っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて行っております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		助言や研修を受けて支援に生かしています。	助言や研修を受けて支援に生かしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	特にありません。	感染症流行のため、積極的な参加はできておりません。今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	感染症流行前は、月1回程度の地域連携部会に参加しておりました。	感染症流行のため、積極的な参加はできておりません。今後検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノート等を利用し、日頃の状況把握に努めています。	
関係機関や保護者との連携	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		訓練士に介入してもらい、日常の姿勢等アドバイスをしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に行っています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月20日

事業所名 わかば療育園 きらら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて、各部署と連携を取りながら相談をお受けしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	特にありません。	保護者会などの設置をしておらず、保護者同士の連携には至っていません。今後要望があれば、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情を受けた際には速やかに対応できるように努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年に3回会報を制作。保護者に配布し、センター内でも掲示を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		組織的に気を付けております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		相手に寄り添えるような配慮を心掛けています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	特にありません。	感染症流行のためできておりません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	施設スタッフには、マニュアルを作成し周知徹底を行っております。定期的な防災訓練や感染症対策の研修会を行いました。	職員用のマニュアルはあるのですが、保護者に対しては一部ない物もあります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度、センター全体で行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に職員全体に向けて研修会を設けています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束が必要な児童さんはいらっしゃらないのですが、そのようなケースがあれば、しっかりと対応したいと思います。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約の際にアレルギーの有無をしっかりと確認し、適切に対応しています。	
非常時等の対応	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		他部署であったことも回覧し、職員間で共有しています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。